

議事録（概要）

会議名	2019年度 第3回 市町村等公文書管理支援事業検討会議	作成日	2019年12月3日（火）
		作成者	（公財）沖縄県文化振興会 公文書管理課
日時	2019年11月29日（木）10:00～14:00		
場所	沖縄県公文書館 会議室		
出席者	外部有識者：小谷允志（出版文化社アーカイブ研究所長） 真栄城香代子（前沖縄県公文書館長） 事務局：上與那原美和子（沖縄県公文書館長）、大城博光（同公文書管理課長）、仲本和彦（同資料公開班長）、瑞慶村節子（同評価選別嘱託員）		
欠席者	無し		
議題	1. 「市町村文書管理規程」状況調査 ・追記項目の説明と意見交換 2. 市町村公文書管理に関するアンケート調査について ・回収状況及び集計結果（11月28日現在）の報告と意見交換 3. シンポジウムの企画・構成についての意見交換 4. 次回検討会議の開催時期について 5. その他		
審議事項	1. 「市町村文書管理規程」状況調査 □ 首長部局以外の規程で空欄になっている箇所は、首長部局の規程に準ずる場合は、同様の規定を記載した方がよい。 □ 首長部局を対象としているので、それ以外（教育庁、水道部局等）の規程については分けて表を作成したほうがよい。レベルの違うものを集計し分析することになる。問題点が明らかになるような形で集計しなければ、単なる数字上の集計になる。 □ 「ルール制定の目的の有無」では「公文書管理の目的」としないといけない。国の公文書管理法は、「説明責任」、何のために公文書管理をしないといけないのか？項目の設定の仕方、集計の仕方を工夫しないと、本当の問題がでてこない。集計という意味ではそのまま使えない。法律の趣旨とは次元が違う。 □ 1次データとしてこのままで必要だが、集計の時の工夫が必要である。		
	2. 市町村公文書管理に関するアンケート調査について □ 質問 2.1 「歴史公文書はどの段階で選別していますか。」の回答選択肢の「保存		

期間の満了前」の「満了前」の意味についての質疑応答があり、次のような意見があった。

- 沖縄県では0だと思う。国はレコードスケジュールというあらたな制度を法律で取り入れた。公文書管理条例を制定している自治体以外はない。国の法律では、できるだけ早い時点で移管か廃棄かの措置を決めるということになっている。永年保存の中に歴史公文書が含まれていて、満了前に歴史公文書を選別しているという意味しか考えられない。永年文書があって、その中に歴史公文書をいると考えられる。
- 最終的にアンケートの結果とルールの比較を統合して報告をまとめていくが、データは別々のデータとして、分析結果は関連を整理して課題をまとめていく。立体的に課題が明らかになるといい。
- シンポジウムではアンケートの主要な部分の報告を行う予定だが、最終的な分析結果報告ではない。参考データとして集計結果を渡すことはできると思う。
- 分析というのは、いろいろな人の視点から見べきなので、年度内に報告書を作成するというスケジュールは再検討した方がよい。
- シンポジウムはアンケートのお礼と集計結果を報告する程度にとどめる。
- 沖縄県の場合、文書管理規程、編集保存規程をセットでみていかないといけない。国の場合は、法律、政令、ガイドラインがあり、3セットでみていかないといけない。法律だけみてもわからない。
- 沖縄県の市町村の情報公開、個人情報に詳しい学識経験者に頼んでみてはどうか。
- アンケートの結果がまとまった段階で報告書にコメントをいただくことを考えてもよいのでは。

3. シンポジウムの企画・構成についての意見交換

- ディスカッションの進め方について、参加者主体で活発な意見交換を行いたい。現段階では意見交換が活発に行われぬ可能性が高いので、今回は課題を共有し、気運を高める場とした方がよい。
- 意見交換会は「課題の共有」を大目的として、解決策まで提示することはできなくても、解決のヒントが得られる時間にしたい。市町村の持っているいろいろな悩みを拾い上げていきたい、というのが趣旨である。第一部では公文書管理の重要性を認識してもらおう。
- シンポジウムの構成のまとめとして、シンポジウムは午後の時間で行うことで再検討する。第一部は、公文書管理の重要性と意義について理解を深める。第二部では、事業の趣旨、アンケートの結果を報告し、市町村の方にはアンケートではみえない課題について具体的に聞いて、パネリストが解決のヒントにな

るようなアドバイスを。また、他市町村の方でヒントになるような取り組みをしているところがあれば、そこに答えてもらい、課題の共有と解決のヒントを探る。

4. 次回検討会議の開催時期について

- アンケートの分析は作業ベースで整理して、その上で協議するというステップがいいのでは。分析方法をもう少し、目に見える形で整理して方向性を明らかにして協議する。
- 結果報告の前にスケジュールも含めて文化振興会の今後の方向性について説明をいれていく。次のステップとして、どこかサンプルになるところを個別に具体的に課題を聞き、分析して改善の企画提案を作成していくことを次年度の作業とする。特定の市町村の課題に対して企画立案していくことを主としてやっていきたい。今後の事業について整理していきたい。
- 1 月末までにアンケート集計、現行公文書管理ルール集計、規程を送付してもらえたら整理して、その結果をできれば前日の会議で、見えてきた方向性を話してどういう風にまとめるか、話し合いができると思う。
- 課題の共有をテーマに、アンケートの結果を踏まえて、もう少し踏み込んで聞いた方がよい市町村に現状を確認する。課題について、アドバイスができるならアドバイスを行い、先に取り組みをしている市町村にふる。スクール形式で、市町村職員とパネリストだけでなく、市町村職員と市町村職員で意見を交換できるようにする。
- アンケートと密着させながら話を広げていく、課題を共有していく、ディスカッションを再検討していく。
- 次回は 2 月 13 日を予定。1 月の段階で集計した結果を小谷さんに送付する。

5. その他

- なし